

令和 8 (2026) 年度 一般社団法人岩手県バスケットボール協会 基本方針

《行動指針》

『バスケで岩手を元気に！』 ～ 大人から子供へ夢の舞台を ～

《基本方針》

- 新たなステージに対応する県協会組織体制を構築する。次世代の人財を抜擢・登用し、中核となりうるリーダーを養成する。各種事業のスクラップ&ビルドを遂行し関係者の負担軽減を図る。
- 少子化による競技者の減少やチーム存続の危機等に対応するため、競技人口の確保・増加を目指す取り組みを強化する。
- 各種全国大会等の開催経験を活かし、アンダーカテゴリーを中心とした全ての競技者に高いレベルのバスケットボールを提供する環境を継続的に整備する。
- 指導者の養成と質の向上、育成センター・各種リーグ戦事業の推進を継続し、日本のトップレベルで活躍する人材の更なる輩出を目指す。
- 審判員・T0 のレベルアップを図るとともに、登録を推進し、人員の拡大を目指す。

《重点実施事項》

- 総務財務部関連事項
 1. 加盟団体課題検討委員会の運営
 2. 社員総会・理事会・各種表彰式・研修会等の企画、効率的且つ円滑な運営と部会員の人材育成・業務の継承
 3. チーム加盟・競技者登録への対応
 4. 各事業責任者・会計担当者との連携、会計システム構築への対応
 5. リモート会議システム（WEB 会議）の有効活用促進
- 事業広報部関連事項
 1. 第7回バスケットボールフェスティバルの企画と運営
 2. 3 x 3 競技大会の開催（日本選手権大会東北 STOP）

3. グッズ販売体制の再構築
4. バasketボールの魅力や活動の様子を SNS 等で効果的に発信

● 競技運営部関連事項

1. 競技会日程の整理
2. 競技会における重大なトラブル防止策の継続とチームへの啓発（審判部会との連携）
3. TO ライセンスの普及と TO・スタッフ員の増員
4. アンダーカテゴリーの競技環境変化に対する運営面での対応検討
5. 運営体制におけるマンパワーの補強・充実

● 強化部関連事項

1. 強化組織としての強化コンセプトの明確化・一貫指導の構築・結果の振り返り
2. 育成センター事業の充実と有望選手の発掘とカテゴリー間での共有
3. 強化担当者と指導者養成委員会との連携
4. 東北スポ・国スポに向けた継続した強化と新たな強化策への取り組み
5. 3x3 の普及活動への取り組み

● 普及育成部関連事項

1. 諸競技会の運営体制強化
2. キッズイベント等キッズ世代を惹きつける取組の推進
3. 運動部活動の地域移行を見据えた U15 クラブを含む競技環境の整備
4. アンダーカテゴリー世代の育成方針及び育成環境整備ガイドラインの周知徹底
5. キッズサポーター等の指導者養成事業の充実
6. 障がい者Basketボール事業の推進

● 審判部関連事項

1. 各種大会の運営に十分な審判員の確保と次世代を担うリーダーの養成
2. やりがいと誇りのある審判活動と審判員全体のレベルアップ
3. 若年層審判員・女性審判員の発掘と活動しやすい環境づくり
4. 審判部（審判委員会）と TO 委員会の連携